

＜企業名＞社会福祉法人 新友会



- ・設立 1985年1月
- ・従業員数 132名(男性57名・女性75名)
- ・業種 社会福祉事業
- ・事業内容 (第1種社会福祉事業)施設入所支援事業所「ひまわり園」
(第2種社会福祉事業)多機能型事業所「ひまわりの家」／就労継続支援B型事業所「ニューフレンドひまわり」／多機能型就労支援事業所「ひまわり畑」／多機能型就労支援事業所「ひまわり・フードサービス」／共同生活援助事業所「グループホームひまわり」／指定特定相談支援事業所「スペース・ヒマワリ」／短期入所事業
(公益事業) 地域支援事業 日中一時支援事業 「ひまわり園」
- ・住所 大分市辻911番地
- ・TEL 097-595-0088
- ・ホームページ <http://www.3-flower.jp/>
- ・採用実績/新卒3名(2021年度) 生活支援員2名 就労支援員1名

1. 企業紹介、PR

社会福祉法人 新友会は障がいを持つ我が子を憂い、「親亡きあと」をテーマに保護者が集まって設立された法人です。自分たちがいなくなった将来でも、安心して、我が子を託せる施設を自分たちの手で作り上げる思いを胸に懸命に奮闘して、まいりはや35年以上が過ぎました。世の中の障害者の方々の笑顔と幸福のために、今後も真摯に福祉の現場と向き合い、日々変化するニーズを敏感に察知しながら、総合的な障害福祉サービスの提供を実現できる法人へ職員一丸となって邁進しております。

新友会では法人全体で主に知的障がい者の方、ご家族の方の幸福を願い、「働く機会」「生活の場」を全力でサポートし、現状に甘んじることなく、なぜ我々が社会福祉法人であるかの意義を十分理解して、地域や多くは社会での障害福祉のさらなる向上を目指して精進してまいり所存です。

2. 経営トップの考え方

新友会は創設以来、「親亡きあと」「地域との共生」を再重要課題に掲げて業務を推進してきました。

今、「自立と共生の社会」を目指し、障がい者が地域で暮らせる社会に本格的な取り組みを意識しながら、就労の場の拡充を目指して、プロジェクトを推進しています。大分県と協働しながら農福連携事業の取り組みをはじめ、計画は順調に推移しております。

また、障害者総合支援法の見直しを踏まえて、今後の福祉の方向性を確認しながら、法人の今後の展開を図りたいと考えております。

3. 企業の強みと今後の展開(今後の目標、目標に向けた取組、業界や市場の状況など)

現在、新友会では「働く」と「暮らす」をキーワードに障がい者の方々の社会参画を担うサービスに力を入れて取り組んでいます。

「働く」に関しては、障がい者の方々の社会貢献を念頭に、個々の個性と能力に応じた最適な就労支援を選択できるように、現在 5 事業所を展開しております。ひまわり畑、ニューフレンドひまわり、ひまわりの家、ひまわりフードサービス、ひまわりワークステーションの各事業所は、それぞれ違った特色を持って、就労支援で、障害者の境参画に役立っております。

「暮らす」をキーワードに安心した住まいの提供サービスを実施するひまわり園、グループホームひまわりの 2 つの事業所を展開しております。そこでは、昼夜を問わず、日常生活の支援を行い、障害者の方々の生活の質の向上を、人生における夢や、希望といった自己実現のお手伝いをさせていただいています。

強みとしては、慣れた環境の中でご本人やご家族の希望に沿ったサービス提供を行えている事です。ご希望に沿うということは難しいことですが、「新友会を利用して良かった」と言ってもらえるような、心に寄り添うサービス提供を今後も目指しています。

4. 社風について

大分市内の中では歴史が長い法人の一つとなりました。保護者が集まり発足した法人ですので、子供を思う気持ちが理念や社風につながっており、現在もその思いを掲げながら運営をしています。だからこそ、私たち職員はサービスを利用して頂いている皆様の心に寄り添い、その場だけではなく将来を見据えた人生のお供をさせて頂いている気持ちで業務にあたっています。

安心してご利用いただくために、ミスをしないよう配慮するだけでなく、明るい笑顔と親しみやすさを大切にしています。

もちろん職員間でも明るい笑顔と親しみやすさを大事にしながら、日々のディスカッションを踏まえプロの福祉職を目指し取り組んでいます。

5. 求めている人材について

採用人材としては「成長意欲のある方」「つねに問題意識をもって行動に移せる方」「チームプレイを大切にされる方」「新友会の理念に共感できる方」など…お伝えしていますが、一番大切にしているのは「御利用者の幸せや満足と一緒に考え、行動すること」です。御利用者と一緒に悩んで喜んで歩んでいきたい気持ちを持っている方に私たちの仲間になってほしいと考えています。

6. 就職活動を迎える学生へ / アドバイス

就職活動において自己分析の必要性が言われていますが、容易なことではないと思います。自己分析には客観性が重要だと思いますので、一人で「どんな仕事がいいのか…」と悩むより、いろんな場所に足を運びいろんな人と話をする事で、自分のことが見えてくることもあるのではないのでしょうか。「コミュ障で人と会ったり新しい環境に足を運ぶことが苦手」と思う方もいらっしゃるかもしれません。だとすれば、就職する場合は少しでも長く働ける環境の方が良いと思いますし、その会社を自分の目で選ぶことは大切だと思います。

新友会にも話をする事が苦手は職員はいますが、だからこそコミュニケーションが苦手な御利用者の気持ちを感じ取る事が出来るのかもしれませんが、自分らしさと仕事のミスマッチを起こさないように、色々な情報を集めながら、自己分析をする事をお勧めします。

7. 学生の主な質問について

① 入社後はきちんと指導してくれますか？

1年または必要な期間、先輩職員が指導とサポートを行います。業務内容のレクチャーはもちろん、仕事についての悩みなども相談してもらえるように、メンタル面もサポートする事を目的にしています。

② 休みはどれくらいありますか？

年間108日の休日があります。入所施設など24時間営業の事業所では月9日の休日となっています。他に、年次有給休暇取得数は法人全体で平均8.6日/年となっており、年々取得日数が増えてきています。

また、育児休暇(男性・女性共に)も積極的に取得してもらっており、厚労省よりくみんマークを授与されています。今後は介護休暇も必要になると懸念し、必要な時に休みを取得できるよう働き方を検討しています。

③ 福祉の資格を持っていないと仕事が出来ませんか？

採用時に資格の有無は不問としています。社会福祉士や介護福祉士などの資格を取得し入社した職員は全体の1割も満たない程度です。むしろ、入社後に関心を持ち働きながら国家資格を取得した職員も多くなります。資格取得に関しては学費補助(上限あり)や休日の優先的な調整など、法人からバックアップを行っています。取得後には資格手当として給与に反映されます。

<OB/OG 情報> (情報は人事経由で卒業生との連絡手段に)

・直近5ヶ年新卒採用者在籍情報

令和3年 3名 支援員 (福祉系専門学校・農業大学校)

令和元年 1名 支援員 (農業大学校)

平成30年 1名 支援員 (4年制大学理系)

・OB 訪問対応の可否

対応は「ひまわりの家 担当:小塩」(097-595-1041)までご連絡ください。

実際に働く人の声

【支援員】(平成 27 年入社)

(仕事内容は何ですか?)

高菜漬けや梅干しや浅漬けを作る作業や、出荷準備を通して、利用者様への就労支援を行っています。

また、漬物の栄養価計算を行ったり、浅漬け部門では責任者として段取り等にも取り組んでいます。

(仕事のやりがいは何ですか?)

新しい仕事を覚えたり、仕事を任せてもらえるようになった時に、仕事のやりがいを感じています。なかでも、利用者様の笑顔を見ることが出来るときはとてもやりがいを感じます。その時に、仕事を続けていきたいという気持ちになります。

(会社の第一印象、入社を決めた理由は何ですか?)

会社の第一印象は、先輩職員たちの人柄の良さ、優しさを感じました。

入社を決めた理由は、以前より福祉の仕事に興味があった事と、仕事内容(栄養士と支援員)に魅力を感じたからです。

【支援員】(平成 25 年入社)

(仕事内容は何ですか?)

知的障害の重たい利用者様に生活支援を行っています。日常生活動作、残存能力の維持、利用者様一人一人に合った作業や活動を提供すると共に、利用者様と一緒に楽しく充実した、張りのある日々を過ごしています。

(仕事のやりがいは何ですか?)

仕事のやりがいは、サービスを提供する中で、利用者様が少しでも笑顔になって頂ける場面があることです。私が入社するにきっかけになった言葉が「親亡き後」でした。「親亡き後」の考えは、親が亡き後も子供たちが安心して暮らせるようにとの思いであり、当法人はその願いから設立しています。利用者様が笑顔で過ごして頂くことで、保護者様も安心できるような支援を目指しています。

(育児休暇について教えてください)

平成27年の6月に男の子が生まれ、職場の皆様のご協力の中で育児休暇を利用することが出来ました。実際に子供が産まれてからは家事や子守に追われ忙しい日々でしたが、時折見える子供の笑顔や寝顔に癒され、心から育児休暇を取得して良かったなと思います。子供と一緒にいる貴重な時間を頂けたことに感謝しています。

<先輩からの推薦>

・推薦の理由(以下より、アピールできる項目の選択と、その詳細)

理由	詳細
<input checked="" type="checkbox"/> 成長が見込める	人と接する仕事なので、自分の考えだけでなく色々な価値観に触れながら取り組むことが多く、考え方や視野が広がると思います。
<input checked="" type="checkbox"/> 安定している	国際的な状況などに影響を受けない事はありませんが、コロナ禍でも事業が止まる事はなく、働く者として収入の心配をする事はありませんでした。高額給与ではありませんが、安定した将来イメージを持つことは可能だと思います。
<input checked="" type="checkbox"/> 専門性が高い	福祉に関する資格や研修は多く、勉強する機会も研修や資格取得など多岐にわたってあります。
<input type="checkbox"/> 個人が尊重される	
<input type="checkbox"/> 挑戦できる	
<input checked="" type="checkbox"/> 組織風土が良い	明るい笑顔と親しみやすさを大切にしているので、社内でもコミュニケーションがとりやすい雰囲気づくりを行っています。
<input type="checkbox"/> 自由にできる	

学生へ就職するうえでもっと知って欲しいこと(詳細情報)

① (学生と社会人のギャップはありましたか?)

【支援員 5 年目】

社会人になると様々な責任を感じました。例えば、遅刻や無断欠勤は職員の皆さんに迷惑をかけたか、仕事の段取りに影響を与えます。また、利用者様や職員の皆さんに対する言葉遣いや態度などのコミュニケーションは、印象を良くしたり悪くすることもあるので、意識して行うようになりました。そのなかで、相手の事をもっと知らないといけないという事にも気づく事が出来たと思います。

② (入社してから仕事に対する意識は変わりましたか?)

【支援員 8 年目】

新人の頃は、覚えることも多く自分自身の事で精一杯でしたが、3年、4年と経ってくる中で段々と「職場全体の為に自分に出来る事は何か」という事を考える様になりました。また、利用者様と過ごす時間が増えるにつれ、「もっと出来る事はないか」「もっと笑顔になって頂ける方法はないか」と、日々の支援の中で意識するようになりました。年数を重ねていくと悩みも多いですが、仕事のやりがいも増え、仕事に対する意識が少しずつ高いものになっていくと思います。

③（結婚・育児で生活はかわりましたか？）

【支援員 17 年目】

入社して結婚し子供も二人授かりました。新友会の仕事が好きなので、育児休暇後も職場復帰には迷いはありませんでしたが、器用な性格ではないので、家庭と仕事のペース配分がつかめない時期もあり戸惑いもありました。その中で、家族や職場の皆さんに支えてもらっている事を自分自身が理解できた頃から、少しずつ気持ちが楽になってきたと思います。

好きな仕事を続けることはお勧めです。その為には、「子供は親の一生懸命な姿をしっかり見ている」という意識と、周りの方に対する感謝の気持ちを忘れない事が大切だと思います。

④（仕事を長く続けるコツは何ですか？）

【支援員 16 年目】

ここまで長く新友会で仕事をさせて頂けるとは思ってもいませんでしたが、私が続けてこられたのも、多くの上司・同僚の皆さんに相談に乗って頂き、助けてもらったことが大きかったと思います。コツがあるとすれば、それは「感謝の気持ちを相手にきちんと伝える事」ではないかと思っています。

（補足情報）

- ・社員数 132 名（男性 57 名・女性 75 名） パート 47 名 平均年齢 41.6 歳
- ・女性管理職の割合 20%
- ・男女別新卒定着率（直近5年間） 男性1名 女性4名 採用し、離職率0%
- ・産休・育休後の女性の復帰率 100%
- ・男性の育休取得 平成27年・令2元年
- ・育児や介護に関する働き方に関する制度 平成 29 年に「くるみんマーク」取得